



日本共産党 県議会議員

江尻かな 活動レポート

<https://ejirikana.net/> ツイッター @ejirikana310 フェイスブック ejiri.kana

No.14 2018.5.20

日本共産党茨城県議団

〒310-8555 水戸市笠原町978-6

ご相談は 090-4076-1886
お気軽に

通学バス

子どもが ぎゅうぎゅう詰め



「最近、住宅が増えて通学バスに乗る子どもがいっぱい。危なくて心配」という相談を受け、田中まさき市議と一緒に朝早く様子を見に行きました。



徒歩通学では遠い地域子どもたちが路線バスに乗って通っています。登校時間のバスが1便しかないため約60人の児童が1台のバスに乗り込みます。

雨の日や荷物の多い月曜日はとくに大変とのこと。バス代はすべて保護者負担です。改善できるよう、学校や教育委員会と協議します。

宣伝カー

看板を一新



街頭活動に使っている宣伝カーの看板を新調しました。とても気に入っています。今回のキャッチフレーズは「まもろう憲法9条」「なくそう東海第2」です。

見かけた時には、手を振って声を掛けていただけるとうれしいです(^^)

安倍9条改憲NO!
3000万人署名にもご協力ください

現在、全国で1350万人に到達



5月14日、所属する防災環境産業委員会の県内調査で古河市に行きました。視察先は、▼積水ハウス関東工場「エコ・ファーストパーク」▼厚板精密板金・鋼管製造企業の富田製作所です。

100

私は議員になる前に建築設計の仕事をしていましたが、建築資材を100%リサイクルする住宅メーカーの取り組みを視察し、「建築現場もここまでできたか」と驚きました。そして、廃棄物の適正処分が企業の社会的責任であるなら、行き場のない核のゴミを大量に生み出す原発は無責任の極みだと感じました。



資源循環センター

資源循環への取り組み

※積水ハウスホームページより転載



新築施工現場で27種類に分別。

分別時にICタグを取り付け、専用のタグ読み取り装置や無線でつながった計量器で重さを量ることでより正確に廃棄物の発生量を把握。優れたトレーサビリティを確保しました。



「資源循環センター」でさらに80品目に分別。

現場で回収した廃棄物はここで80品目に分別し、自社、または業者に委託して100%リサイクル。エコマークを取得したグラウンド用ライン材「プラタマパウダー」など、自社リサイクル製品の開発にも取り組んでいます。



▲富田製作所古河工場の1万6000トンの油圧プレス機

富田製作所では、世界最大1万6000トンの油圧プレス機の大きさに圧倒されました。東京スカイツリーの支柱鋼管や羽田空港新滑走路の鋼管杭のほか、東北電力女川原発（宮城県）の津波対策として、防潮堤かさ上げ用鋼管も製造したとのこと。以下は、配布資料にあった富田英雄社長の文章から抜粋したものです。

【防災、減災の為の国土強靱化構想】

「茨城県は、人が大量に亡くなるような大きな自然災害は少ない所（水害には要注意）ですが、今回は、運良く助かりましたが、東海第二原発も、あともう少しで福島への二の舞であった事を忘れてはいけません。」

津波対策は、原発を稼働しようが、しまいが、核廃棄物が存在する限り、対応していかなければならないと考えています。」